



Photography by Hiroki Ebiko



環境報告書 2025

(2026年06月01日発行)

ニューデルタ工業株式会社

経営の理念・行動の指針

トップメッセージ

情報開示と持続可能な発展

ステークホルダーとの関わり

マネジメントシステム

化学物質管理対応

お客様との関わり

- 新商品開発に関する取組み
- 新商品開発・商品化審査規定施行基準
- 製品の環境影響評価

従業員との関わり

- 2025年度の労働災害について
- 防災訓練及び緊急事態時の対応訓練
- 環境教育

社会貢献活動

- 地域活動
- コミュニティー

環境保全活動

- EMS監査
- 遵法評価の結果
- 遵法制の評価について
- 内部・外部のコミュニケーション（苦情含む）
- 主な環境負荷（エネルギー・水資源・廃棄物 等）

ヤンマーグループの環境ビジョンにおける当社の役割と活動

MS（マネジメントシステム）管理責任者より

環境報告書のご意見

本報告書について

報告対象年度

2025年度（2025年3月21日～2026年3月20日）

本レポートは環境省 環境報告ガイドライン（2018年版）を参考にしております。

経営の理念・行動の指針



経営の理念

私達は、より高い理想を求め

より広い視野に立ち

より深い技術を探求して

社会に役立つ商品の創造を通して

豊かな文化とくらしの向上を追求します。

Management Ideals

We pursue the affluent culture and the betterment of the way we live through the creation of useful products for society based on broad management perspectives, rich technologies and ever higher ideals.

行動の指針

私達は、つねに新たな変革(Change)を求め

強い個性と体力・智力を持った会社に育て

一人ひとりが自らの仕事に厳しく、努力を惜しまず

信頼と感謝のもと、『和』の精神をもって

全員が目標に挑戦(Challenge)することを誓います。

Guidelines

We seek to be a corporation with its own distinctive characters, strength and wisdom, always seeking change. we are strict with ourselves and spare no efforts to achieve our goals. Each member challenges to attain our common goals in a spirit of mutual trust, thankfulness and harmony.

～トップメッセージ～



2025年度環境レポートをご覧ください、
誠にありがとうございます。

また、日頃より弊社の環境マネジメント活動に対し、
ご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

近年、気候変動への対応や環境負荷低減への取組みは、企業活動における重要な責任となっています。特に農業分野においては、異常気象による生産への影響や担い手不足など、取り巻く環境が大きく変化しており、持続可能な農業の実現が重要な課題となっています。

当社は創業以来、農業機械を通じて日本の農業とくらしを支えてまいりました。農業は人々の食と地域社会を支える基盤であり、その営みを支えることは、私たちの大切な使命であると考えています。

こうした中、当社は品質と環境マネジメントシステムを統合し、新たな品質・環境方針として、**「私達は、信頼を大切に地球と人に優しい社会を実現します」**を掲げました。

私たちが大切にしている“信頼”とは、お客様や地域社会、お取引先様、そして共に働く仲間とのつながりの中で築かれるものです。その信頼に応えるため、品質の向上だけでなく、環境への配慮を含めた責任ある企業活動を推進しています。

生産活動においては、省エネルギー化や廃棄物削減、資源の有効活用など、日々の改善活動を積み重ねています。また、環境への取組みを特別な活動としてではなく、一人ひとりが自ら考え行動する企業文化として根付かせることを目指しています。

これからも当社は、農業とくらしを支える企業として、地球環境と社会課題に真摯に向き合い、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ニューデルタ工業株式会社
代表取締役社長

高田 大輔

情報開示と持続可能な発展

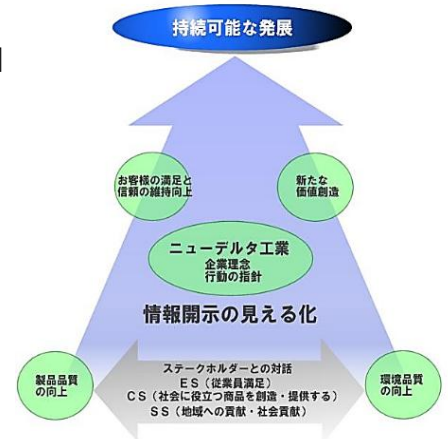
私たちは、ニューデルタ工業（株）の『経営の理念』及び『行動の指針』にもとづき企業活動を推進します。

私たちの行動の変革は、先進・独自の技術により社会に役立つ商品の創造・提供を通じて豊かな文化とくらしの向上に役立てることで、社会的満足が向上します。

その結果として生活の向上と将来にわたる繁栄が約束されます。

大きく変革を求めるプロセスの中で、社会と共に成長していくために、明確な目標を定め従業員一人ひとりが企業活動の中で、『変革と挑戦』をして行動することが最も重要な事と考えています。

私たちは、その企業活動を「情報開示と見える化」という言葉で実現し、各ステークホルダーとの対話を大切に、持続可能な発展を続けます。



ステークホルダーとの関わり

企業は、様々なステークホルダーと関わりながら活動を行っています。企業価値を高めるために企業が自ら抱える課題を中期経営戦略の中で策定し、社会との調和・ステークホルダーとのコミュニケーション・情報開示が最重要課題と位置づけ推進をしていきます。

企業が社会的責任を果たすには、適正な労働慣行や人権を尊重するといった「社会的側面」と経営の健全化と効率性を追求した「経済的側面」、地球温暖化防止や、循環型社会づくりへの貢献など、地球環境保全活動を推進する「環境的側面」について、責任を果たす事が重要な企業責任と考えております。

従業員： 当社の企業価値を高めるための活動の中で従業員は中心的な役割を担うステークホルダーです。行動の指針及び従業員満足の基本とした対話で企業活動を推進します。

お客様： お客様のご意見・ご要望を製品やサービス、そして企業活動へと反映することはメーカーとして最重要課題です。製品・サービスの創造を通じてより価値ある社会の形成に貢献していきます。

株主： 企業価値を正しくご理解していただく事を常に意識した情報開示に努め、経営の見える化、ホームページによる企業活動を開示します。

国際社会： 企業活動に於ける地域共生と環境保全を重要課題
地域社会： と考え、継続的な情報開示をおこない、地域社会とのコミュニケーションを推進していきます。

お取引先： 調達先は当社が安全で環境に配慮した製品を継続的に提供するための重要なパートナーです。資源保護、環境保全、法令遵守に則り調達先の皆様と相互理解のためにコミュニケーションを図り、公平な調達活動を行っています。



マネジメントシステム

お客様にとって安全・安心で魅力ある商品サービスの創造を通じて、高い顧客満足度の提供と信頼の獲得を目指すと共に社会・環境との調和・共存に積極的に取り組み顧客満足を推進します。

【品質・環境方針】

私達は、信頼を大切に
地球と人にやさしい社会を目指します

当社は社会環境の変化に対応した継続可能な社会を目指します。その方針を事業活動、製品サービスに落とし込み、全ての活動においてライフサイクルを考慮した品質活動・環境保全活動を推進します。

1. 当社の全ての活動において品質向上や環境との調和に配慮して行動するため品質・環境マネジメントシステムを確立し、その継続的な改善に努める
2. お客様満足向上の為、自工程保証による品質確保に努め、お客様視点で迅速なサービスの対応を図る
3. 地球環境の保全と人々が心豊かにくらす持続可能な社会に向けて、社会的責任を果たす
4. 品質・環境目標は年度毎設定し、レビューを通して継続的改善につなげる
5. 気候変動による内外の課題に対し、その対応を図る
6. ステークホルダーとの関係性を重視する為に、相互コミュニケーションを積極的におこなう
7. 当社の事業活動に関連して、環境関連を含めて適用される、法令、条例、規制、その他要求事項を順守すると共に、汚染の予防に努める

以上の内容の実行を品質・環境に対する決意表明としここに署名し、全従業員に周知する。

2024年9月20日

ニューデルタ工業株式会社
代表取締役社長

署名： 高田大輔



ニューデルタ工業株式会社



ISO9001

初回登録日 2000年11月22日
更新日 2025年05月13日

適用規格

ISO9001:2015/ JIS Q9001:2015

ISO14001

初回登録日 2004年05月13日
更新日 2025年05月13日

適用規格

ISO14001:2015/ JIS Q 14001:2015

～PDCAサイクルの展開とQMS、EMSの融合で継続的改善へ～

ISO9001とISO14001を融合して、品質パフォーマンス向上と環境パフォーマンス向上の相互関連を強化します。

一貫したマネジメントシステムで運用し、各部門が何をすべきかを明確にコミットメントして実行し、商品・サービスの品質向上による顧客満足向上と環境負荷の低減に寄与します。

その運用にあたって顧客満足の向上を図るためにPDCAのサイクルを回し、継続的な改善を図っております。



化学物質管理対応

- ・化学物質管理者選任
(リスクアセスメント対象物の製造事業場以外の事業場)
- ・保護具着用管理責任者選任
(リスクアセスメントに基づく措置として労働者に保護具を使用させる事業場)
- ・CREATE-SIMPLEによるリスクアセスメントの実施
- ・安全衛生委員会の付議事項の追加
自律的な管理が適切に実施されていることを労使でモニタリング、調査・審議します



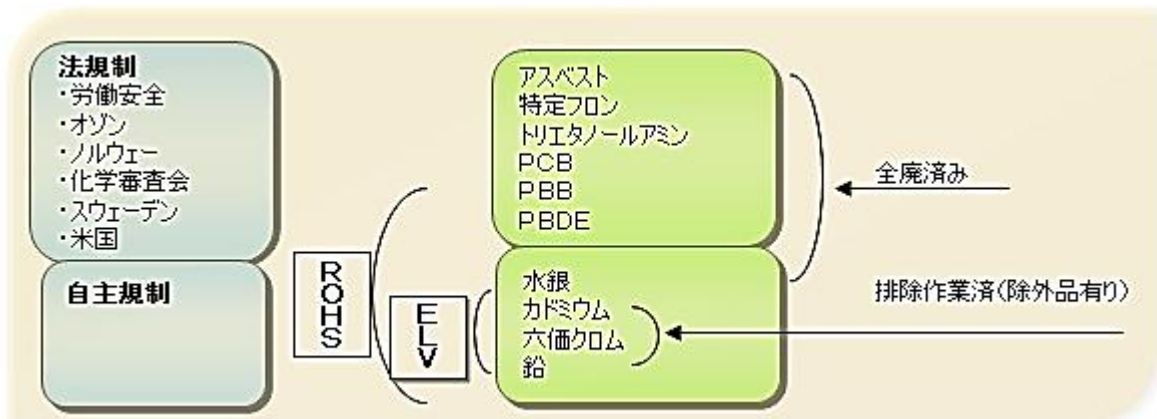
～化学物質に関する情報提供を積極的に行っています～

「PRTR法（化学物質排出管理促進法）」では、環境汚染の恐れのある化学物質を、工場などがどれだけ安全に排出し、廃棄物として移動させたかを行政に届出するように定めています。当社ではこの対象物質の届出はもちろんのことホームページ上でも情報を開示しております。

P R T R法対象物質	2025年度 使用量	前年対比 (出荷原単位・塗装面積含む)
キシレン	2,391kg	110.7% (112.5%)
エチルベンゼン	2,648kg	139.9% (161.6%)
トルエン	1,162kg	90.9% (92.5%)

※2025年度のキシレン・エチルベンゼン使用量増加の要因として、塗料メーカー変更による評価・試験（トライ）回数が増え、一時的に増加しております

～当社はヤンマーグループ地球環境委員会の一員として、環境有害物質の全廃活動を推進しております～



お客様との関わり

1. 新商品開発に関する取組み

2025年度新商品：YK451/651SK YK301SK KSY6 KSY8

2. 新商品開発・商品化審査規定施行基準



お客様が安心して製品を購入・使用できるように、各商品開発ステップに於いて、各関連部門は色々な管理項目をどのように達成していくか、役割を明確にして推進していきます。

当社は、生産担当部門として、Q・C・Tの実施項目・目標を明確にして展開をしました。

3. 製品の環境影響評価

当社はヤンマー規格（Y I S）にもとづき、製品の環境影響評価を実施しております。この環境影響評価は、①法規適合性、②地球温暖化防止、③周囲環境の改善、④リサイクル環境負荷物質の低減と省資源化、⑤情報開示 の5つのテーマについて評価を行い、その評価点が現行機と同等以上になるよう改善を実施します。

～2025年度新商品の環境影響評価～

評価日	商品名	点数
2025年05月	YK451/651SK	52.2点
2025年08月	YK301SK	53.3点
2026年01月	KSY6	51.1点
2026年03月	KSY8	51.1点

※点数は51点以上合格

従業員との関わり

当社は従業員が核となるステークホルダーであると位置づけ「社員一人ひとりが自らの仕事に厳しく、努力を惜しまず、信頼と感謝のもと、『和』の精神を持って行動する」ために、社員の能力開発、高齢者再雇用の仕組み作りや社内外での様々なレクリエーション等の取組みを行い、従業員と会社の信頼関係の構築に努めております。また、5S活動を通じて、製品の品質向上、生産効率の向上及び、社員が安全で働きやすい環境を確保することに努めております。

1. 2025年度の労働災害について

() は前年度件数

業務を休まなければならない重大災害	1件 (0件)
不休業災害	2件 (2件)



2. 避難訓練及びAED講習、緊急事態時の対応訓練

- ・2025年09月22日 震度6強の地震を想定した避難訓練とAED講習を実施



- ・2025年09月22日 2グループに分かれ緊急事態指定4カ所の確認と対応訓練を実施
(①塗装職場 ②廃油置場 ③排水処理 ④油水分離槽)



3. 環境教育

- ・2025年07月14日～07月30日 第一回内部監査 (社内)
- ・2026年01月12日～01月27日 第二回内部監査 (社内)
- ・2026年02月12日～02月13日 第一回サーベイランス審査 (日本検査キューエイ株式会社)
統合マニュアル(QMS・EMS)の運用効果を確認した内部監査・外部審査を実施

当社では年度方針説明会時や各職場ごとに星取表を使用して、環境への理解を深めるための教育を実施し、レベルの向上を目指しております。

- ☆ 新入社員の入社時、環境教育
- ☆ 方針説明会での環境への取組みについて説明
- ☆ 各職場による環境教育
- ☆ 内部監査員養成のための社内研修



社会貢献活動

1. 地域活動

私たちは、工場内外の水路及び道路清掃を通じて、環境に対する意識向上を図っております。また、近隣住民の方や従業員家族を招いた『ND農園収穫体験』や、子どもたちの学習をサポートするための放課後学習事業に学習支援員として参加し活動しております。

これらの活動により、住民相互の情報共有や信頼関係・協力関係を築き、豊かな社会の実現と地球の未来を見据えた地域コミュニティ活動を目指し活動しております。

・2025年09月22日

国道136号線より西側に延びる舗道両側と工場北側農道のゴミ拾いを実施



・2025年11月08日

近隣住民・従業員家族 計30名参加のND農園収穫体験を実施



・2025年06月18日～2026年02月04日：計6回学習支援員として活動

子どもたちの学習意欲を高め、地域の方々との交流を深める活動を実施



～静岡県赤十字血液センターへの献血・ペットボトルキャップの回収にも協力しています～
(ニューデルタ工業敷地内で実施)

・献血協力 : 2025年12月25日 400ml (7名)
・ペットボトルキャップ回収 : 2025年05月23日 3.5kg (1袋)



2. コミュニティー

私たちの企業活動において継続的な対話や情報開示の機会を設け、地域社会とのコミュニケーションを推進しております。その一環として当社の生産活動、環境保全に関する取組みを開示する場として工場見学を積極的に受入しております。

～2025年度 工場見学～

- 2025.10 大和市農業機械技術協会 8名 (引率含む)
- 2025.10 かながわ西湘農協 10名 (引率含む)
- 2025.11 J A 全農あおもり 11名 (引率含む)
- 2025.12 ナプラ東京 14名 (引率含む)
- 2026.03 ハローワーク主催地元高校生 36名 (引率含む)

環境保全活動

MS 監査

- ・第1回内部品質環境監査（2025年07月）
 - ・第2回内部品質環境監査（2026年01月）
 - ・第1回サーベイランス審査（2026年02月）
- これらの是正処置は全て完了しております。



遵法評価の結果

- 水質汚濁防止法 …… 工場排水のPH,BOD,SS,COD,ルルルルル,Fe,Cr,を毎月計量測定
芝浦セムテックによる測定結果は全ての項目が基準値内でした。
- フロン排出抑制法 …… 工場内や対象設備簡易点検：年4回 法定点検：年1回
簡易点検：EMS事務局 法定点検：ヤンマーエネルギーシステム他
簡易点検・法定点検を実施し、異常はありませんでした。
- 騒音規制法 …… 2025.10.02実施
芝浦セムテックによる測定結果は4カ所全て基準値内でした。
- 振動規制法 …… 2025.10.02実施
芝浦セムテックによる測定結果は4カ所全て基準値内でした。
- 廃棄物 …… マニフェストの管理/処分場の現地確認
現地確認により適正に処理されていることを確認しました。
産業廃棄物管理票交付等状況報告書
電子マニフェストにより静岡県東部福祉センターに提出、受理されました。
- PRTR法 …… 第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書
2025.06.25 静岡県 環境部 環境局 生活環境課に提出し受理されました。
- 浄化槽法 …… 11条検査：2025.05.28実施
静岡県生活科学検査センターによる検査を実施、4カ所全て適正でした。
清掃：年1回実施、保守点検：年4回実施しました。
- 消防法 …… 少量危険物管理：年4回（塗料庫点検表確認：EMS事務局）
消防用設備点検：年2回（消防用設備点検：伊豆防災機器）
適正に管理されています。
- 気候変動適応法 …… 熱中症対策による空調服の導入：45着
現場作業者からも高評価を得ており、有益であることを確認致しました。

遵法制の評価について

当社は、法規制に対する測定を定期的を実施し、その測定値は厳密に管理されており法令違反による勧告・是正指導はありませんでした。この結果は、第三者による外部監査でも評価されております。

環境保全活動

内部・外部のコミュニケーション（苦情含む）

2025年3月21日～2026年3月20日までに環境情報連絡・対策依頼書の発行は4件で、全ての対応が完了しております。当年は気候変動適応法により、空調服の導入による熱中症対策を実施し、現場作業者からも高評価を得ております。また、工場近隣住民へのヒアリング調査を実施し、環境・その他の意見・苦情・提案はありませんでした。

今後も定期的に調査を実施致します。

主な環境負荷（エネルギー・水資源・廃棄物 等）

	2024年度	2025年度	前年比
	実績	実績	使用量
電力	863,968KWh	807,680KWh	93.5%
都市ガス	152,116m ³	147,247m ³	96.8%
事務用紙	181,500枚	166,000枚	91.5%
市水	505m ³	490m ³	97.0%
井水	21,102m ³	18,798m ³	89.1%
廃棄物	199.6m ³	199.8m ³	100.1%
リサイクル率	96.8%	96.8%	-

※CO2フリー電気の契約（静岡ガス&パワー）によりt-CO2大幅削減しました

※5S活動の推進による西若倉庫、工場内の不要物廃棄により廃棄物量が増加しました



環境保全活動

SDGs活動 (環境関連)



上記環境関連図は下記より抜粋しております

すべての企業が持続的に発展するために - 持続可能な開発目標(SDGs エスディージーズ)活用ガイド - [第2版] 令和2年3月 環境

～わたしたちは、持続可能な開発目標『SDGs』を支援しています～

当社は三島市SDGs宣言制度の申請を行い、2025年1月6日に三島市SDGs宣言証の交付を受けました。三島市SDGsロゴマークを活用した対外的なPR活動推進として、当社ホームページへ掲載しております。



ヤンマーグループの環境ビジョンにおける当社の役割と活動

ヤンマーグループ地球環境憲章

環境基本理念

ヤンマーグループはグループとしての発展と地球環境保全との調和のとれた関係を構築することに努めることにより、社会の持続的発展に寄与します。

行動指針

1. 環境保全への取り組みをグループ経営の最重要課題のひとつとして捉え、グループを挙げて環境経営に取り組む
2. 事業活動にあたり、事業所が立地する国、地域の法令、規則を遵守するのはもちろん、必要に応じ自主基準を設定して環境保全レベルの向上に努める
3. グループ地球環境委員会において環境対応方針を策定し、グループ内に周知の上、総合的に環境保全活動を推進する
4. 環境保全に関する情報を積極的に社内外に公開し、グループ会社、パートナーの理解と協力を求め、効率の良い環境保全活動を推進する
5. 下記の環境4分野につき、実効のある施策を計画的、継続的に推進する
 1. 環境保全に寄与する技術の確立と環境負荷の小さい製品・サービスの提供
 2. 事業活動の各段階での環境負荷の低減
 3. 社外との連携、共生→地域社会への貢献、環境情報の公開等
 4. 環境意識の向上→社内環境教育、ライフスタイルの改革等

A SUSTAINABLE FUTURE
—テクノロジーで、新しい豊かさへ。—

SCENE 01

省エネルギーな暮らしを実現する会社

SCENE 02

安心して仕事・生活ができる社会

SCENE 03

食の恵みを安心して享受できる会社

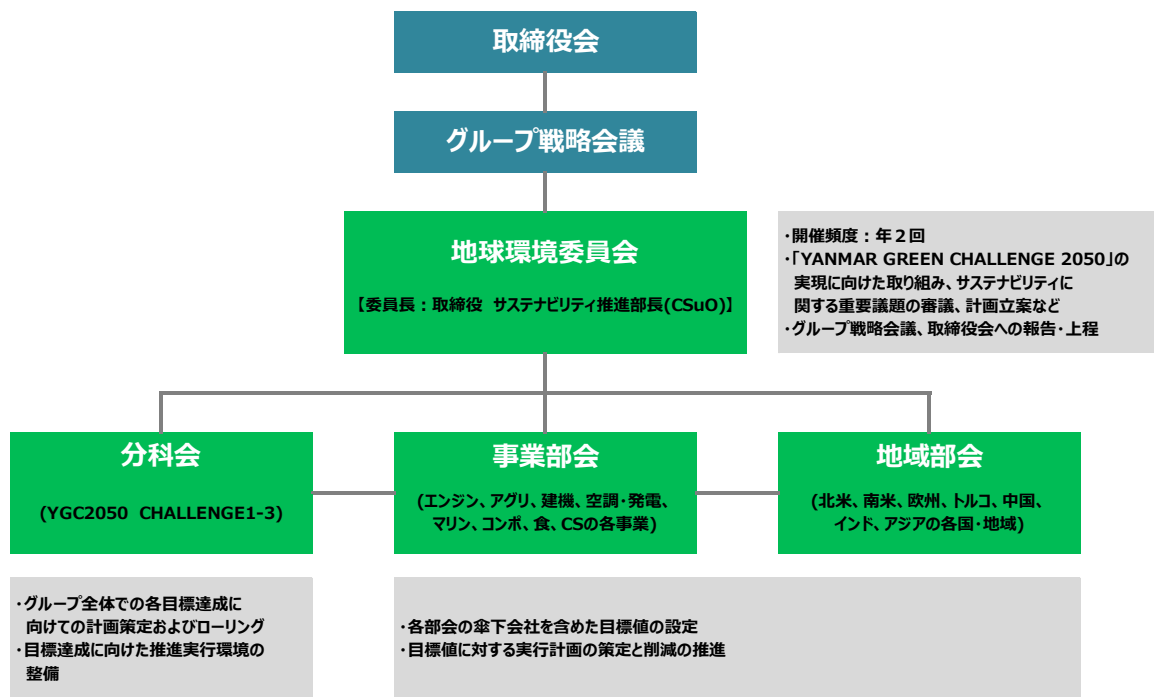
SCENE 04

ワクワクできる心豊かな体験に満ちた会社

ヤンマーグループでは、「Purpose: 私たちの存在意義」である「A SUSTAINABLE FUTURE —テクノロジーで、新しい豊かさへ。—」の実現に向けて、事業を通じて直面する社会課題解決のため活動しており、その活動そのものがヤンマーグループのCSRであると考えています。同時に、「YANMAR GREEN CHALLENGE 2050」などにも取り組み、SDGsの目標達成に貢献していきます。

また、当社の提供している小型農業用機械管理機や草刈機の普及を通じて、農作業の負担軽減や農家の労働環境の改善、安定した食料生産の促進や土地を効率的に整備し、耕作放棄地の再活性化と持続的な農業生産に取り組めます。当社はISO14001の活動を通じて、温室効果ガスの削減を進め、環境負荷を軽減し、当社製品の普及を通じて持続可能な農業へ貢献して参ります。

ヤンマーグループ環境保マネジメント推進体制



～MS（マネジメントシステム）管理責任者より～

2025年はウクライナ侵攻から4年を迎え、2026年2月にはアメリカとイラン戦争が勃発し中東情勢が悪化、更にはホルムズ海峡封鎖が続くなど海外の外部環境が大きく変化し、国内における石油製品の供給不足や原材料、労務費、エネルギーコストの高騰が続いております。

このような厳しい環境下において、弊社はこれらの影響を受けつつも、ステークホルダーの皆様のご協力のもと、様々な問題に対応しながら企業活動を継続することができましたことを深く御礼申し上げます。

環境面におきましては、熱中症対策や新たな化学物質規制による対象物質の調査やその対応を進めており、環境活動における「目的・目標評価」については、Co2フリー電気への契約変更によるCo2発生量の大幅削減や、昨年数値が大きかったPRTR法対象物質「トルエン」が目標達成できました。今回、塗料メーカー変更による評価試験にて「キシレン」「エチルベンゼン」が一時的に増加しましたが概ね達成できております。また、環境に関する法規制の遵法制評価についても問題なく良好です。

2026年2月にサーベイランス審査を受け承認されました。2026年はISO改訂もあり、その対応や全従業員へ教育することで更なるレベルアップを目指し、企業活動と環境活動がリンクした取り組みを着実に実施しますので、ご協力の程、宜しくお願い致します。



環境報告書のご意見

この報告書に関するご意見をお待ちしております。

提出先 : ニューデルタ工業株式会社 管理部 総務経理課

提出方法 : 下記のいずれかでご提出下さい。

郵送 411-0816 静岡県三島市梅名767

F A X 055-977-7608

電子メール soumu@newdelta.co.jp

様式 : 様式は自由です

問合せ : 管理部 総務経理課 電話 : 055-977-1727





ニューデルタ工業株式会社
New Delta Industrial Co.,LTD.

〒411-0816 静岡県三島市梅名767番地

TEL:055(977)1727代表

FAX:055(977)7608

E-mail:info@newdelta.co.jp

HP:http://www.newdelta.co.jp

767 Umena Mishima City. Shizuoka Pref. Japan

TEL:055(977)1727

FAX:055(977)7608

E-mail:info@newdelta.co.jp

HP:http://www.newdelta.co.jp